

JPIC NEWSLETTER

通巻 236 号

2022 年 9 月 8 日

第29期 JPIC読書アドバイザー養成講座

8月27日(土)、28日(日)に 第29期「JPIC読書アドバイザー養成講座」が開講しました。

当講座は、読書を通じた生涯学習や読書活動を推進する人材育成のため、1993年3月よりスタート。北海道から沖縄まで幅広い職業・年齢の方々から定員の倍を超える225名の応募があり、今期は受講者を予定の100名から125名に増やしました。

開講にあたりJPIC理事長 近藤敏貴（専務理事 松木修一代読）より「出版界では諸課題の改善に向け大きな取り組みが始まっています。JPICがその中心となって新たな取り組みを進めていきます。特に出版業界が一丸となったこの秋の読書推進運動はJPICが中心となって進めています。JPICが多くの実業を行えるのもJPIC読書アドバイザーの皆さまのお力添えのおかげです。受講生の皆さまも講座を学びの機会とし、様々な立場から読者を育てていきましょう」と挨拶がありました。

また、日本雑誌協会 堀内丸恵 理事長より「読書の魅力を広めるためにこの講座に集まった皆さまに心から感謝します。修了後は読書の楽しさを多くの人に伝えていってほしい」とお祝いの言葉を頂戴しました。

第1回は、専任講師 永江 朗さんをはじめとして、川井昌太郎さん（印刷博物館学芸員）、東 えりかさん（HONZ 副代表・書評家）がご登壇。開講記念講演は「絵本の時間」と題して、落合恵子さんにクレヨンハウスの店舗からご講演いただきました。

今期は全4回8日間のスクーリングのうち第1回～3回をオンライン、4回を会場（出版クラブ）で開催、3月には修了式を予定しています。



日本雑誌協会理事長 堀内丸恵氏

「子どもたちを本の世界へ」 in 大阪市

8月20日(土)に「子どもたちを本の世界へ～読む楽しみを届けよう～」を大阪国際会議場にて開催。慶應義塾大学教授の今井むつみさんがご登壇、子どもの頃の読書量が学力とどのように結びつくのかなど、認知心理学の観点からお話いただきました。

69名が参加し、「絵本の読みきかせ活動が子どもたちの思考を育むことができると自信がもてた」「学びとは何か、知識とは何か、考える力とはなど、考える機会をもらいました」といった感想が寄せられ、盛況のうちに終了しました。

次回は11月3日(木・祝)「子どもたちを本の世界へ」福岡市、そのほか「読みきかせサポーター講習会」基礎編を10月1日(土)名古屋市、学びを深める編を10月22日(土)に東京都で開催します。



今井むつみさんによる特別講演

この秋から取り組む新規事業 「本だなプロジェクト」

SDGsがめざす「誰一人取り残さない」の実現に向けて、「本だなプロジェクト」を始動します。

自宅に本がない環境の子どもに本と触れ合う楽しさ、喜びを感じてもらえるよう、子ども食堂や無料塾などに、本棚と本を寄贈。さらに月1回読みきかせボランティアを派遣し、おはなし会を開催します。

現在、開催施設を募集中（締切は9月15日）で、10月から全国10自治体10施設で実施します。同時に、本棚、本の寄贈も募っています。詳しくは同封チラシをご覧ください。（子どもゆめ基金助成活動）

8月のJPIC ONLINE 初の海外配信を実施

7月29日、8月5日・12日(金)に開催した連続講座「やっぱり読みたい日本の近代文学～感性のひとつ、宮沢賢治～」では『風の又三郎』『やまなし』『銀河鉄道の夜』など、誰もが一度は読んだことのある作品を精読。オノマトペを用い、感性豊かな作品を描いた宮沢賢治の文学の特徴をソコロワ山下聖美さん(日本大学教授)にお話しいただきました。

20日(土)は『この本読んで!』との連動企画「絵本で平和を考える」を開催。絵本作家の鈴木まもるさん、浜田桂子さんをお迎えして、絵本を通じて大人が子どものためにできることについて考える時間を、視聴者と共有しました。

27日(土)にはJPIC ONLINE初の試みとなる海外と繋げての配信を実施。「『赤毛のアン』と歩んだ L.M.モンゴメリの旅路」と題してカナダの作家モンゴメリの生涯を現地の写真を豊富に用いながら梶原由佳さん(トロント公共図書館勤務)にお話しいただきました。

8月はほかにも定期開催の「JPIC絵本アワー こんにちは、絵本たち!」、13日・20日(土)には協力事業として「高校生直木賞 夏休みイベント2022」の開催など、多彩なイベントで盛り上がりました。

紀伊國屋書店新宿本店にて バックナンバーフェアスタート

9月5日(月)から、紀伊國屋書店新宿本店2階催事場にて『この本読んで!』バックナンバーフェアを開催しています。

本誌では初の試みで、過去3年間分のバックナンバーを陳列中。表紙を眺めるだけでも楽しい空間です。併せて「親子で読んでほしい絵本大賞」の大賞作品なども販売。お買い上げの方には『この本読んで!』特製ファイルのプレゼントも実施しています。フェアは9月いっぱい開催予定です。



紀伊國屋書店新宿本店での展開の様子

第55回造本装幀コンクール 表彰式 & 公開展示

9月5日(月)、日比谷図書文化館 コンベンションホールにて、第55回造本装幀コンクール(主催:日本書籍出版協会、日本印刷産業連合会)の表彰式がおこなわれました。

3年ぶりのリアル開催となった当日は受賞21作品の関係者のほか、審査員、報道陣合わせて101名の出席者で大いに賑わいました。

冒頭では審査委員長の浜田桂子さんが審査総評として、審査の過程や選定理由などを話されました。出版文化産業振興財団賞を受賞した『王さまのお菓子』(世界文化社刊)は近藤理事長より中嶋香織さん(装幀家)へ賞状が授与されました。三賞受賞者のスピーチでは作品制作に対する熱い想いを伺うことができた貴重な機会となりました。

10月24日(月)～11月30日(水)には、今回出品された全347点の公開展示をおこないます。場所は出版クラブビル3階クラブライブラリー、入場料は無料です。

※11月21日正午～31日は三賞・日印産連賞の計9作品はIGASでの展示のためご覧いただけません。



日本印刷産業連合会会長賞 受賞のみなさま

「秋の読書推進月間(仮)」 企画アンケートを実施

8月2日(木)～15日(月)、「秋の読書推進月間(仮)」開催に向けたWEBアンケートを、本に関わる皆様を対象に実施しました。約1,500人の方々から回答いただきました。多数のご協力、誠にありがとうございます。皆様の意見を参考に、10月27日(木)のキャンペーン開始に向けて企画準備いたします。

読書の秋を盛り上げるべく、引き続きご協力のほどよろしく願いいたします。

NEWSについてのお問合せや詳細資料ご希望の方は、事務局までお申し付け下さい。

JPIC HPアドレス: <https://www.jpic.or.jp>

賛助会員様のイベント情報を発信します!